

流域モニタリング一斉調査結果

1 背景

- ・ 県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・ この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・ 身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成19年7月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を平成21年度より実施しています。
- ・ この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

2 参加者公募状況

- ・ 幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）では参加者募集の記者発表を行いました。また、市町村においては、広報、ホームページ、チラシの配布等を活用して公募を行いました。
- ・ 昨年度とほぼ同数の43市町村（全市町村の約8割）で参加者の募集を行いました。

公募方法（平成23年度）

※表中の数字は公募を実施した市町村数を表しています

	広報	ホームページ	ちらし	広報+ホームページ 広報+ちらし	その他	合計
尾張地域	11	3	6	2	-	22
西三河地域	12	1	1	1	-	15
東三河地域	4	-	-	-	2	6
合計	27	4	7	3	2	43
参考（H21）	17	1	8	3	-	29
参考（H22）	30	2	9	2	6	49

3 流域モニタリング一斉調査体験会（行政職員対象）

- 参加者の質問等に対応できるようにするため、市町村や県の担当者を対象に体験会を開催しました。「水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル」に従って、透視度やパックテスト（COD）、指標生物（水生昆虫等）の採取を体験しました。

平成23年度流域モニタリング一斉調査体験会実施状況

地域名	調査地点	実施日	参加人数
尾張地域	一級河川 吉田川 あいち海上の森センター付近	5月18日（火）	4
	一級河川 堀川 辻栄橋付近		14
西三河地域	二級河川 逢妻川 逢妻橋付近	5月23日（月）	14
	一級河川 籠川 矢作川合流点付近		4
東三河地域	二級河川 音羽川 音羽支所付近	5月25日（水）	4
	一級河川 朝倉川 飽海橋付近		5

流域モニタリング一斉調査体験会の様子



4 参加状況及び調査結果

- 今年度においては県内54市町村のうち、約4割の22市町村で参加がありました。昨年度と比較し、参加団体は増加しましたが、のべ参加人数及びのべ地点数が減少しました。夏場の天候の不順により実施を見合わせる方が多くみられました。
- 流域モニタリング一斉調査参加状況は下図のとおりになります。
- 調査結果は水質、水量、生態系、水辺及び流域別ごとに別図のとおりになります。

平成23年度流域モニタリング一斉調査参加状況

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	のべ参加人数	のべ調査地点数
尾張地域	8	47	280	21
西三河地域	9	82	452	139
東三河地域	5	5	128	14
合計	22	134	860	174
H21参考	25	83	884	287
H22参考	25	103	1,000	210

※のべ地点数以外は水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市）を含む。

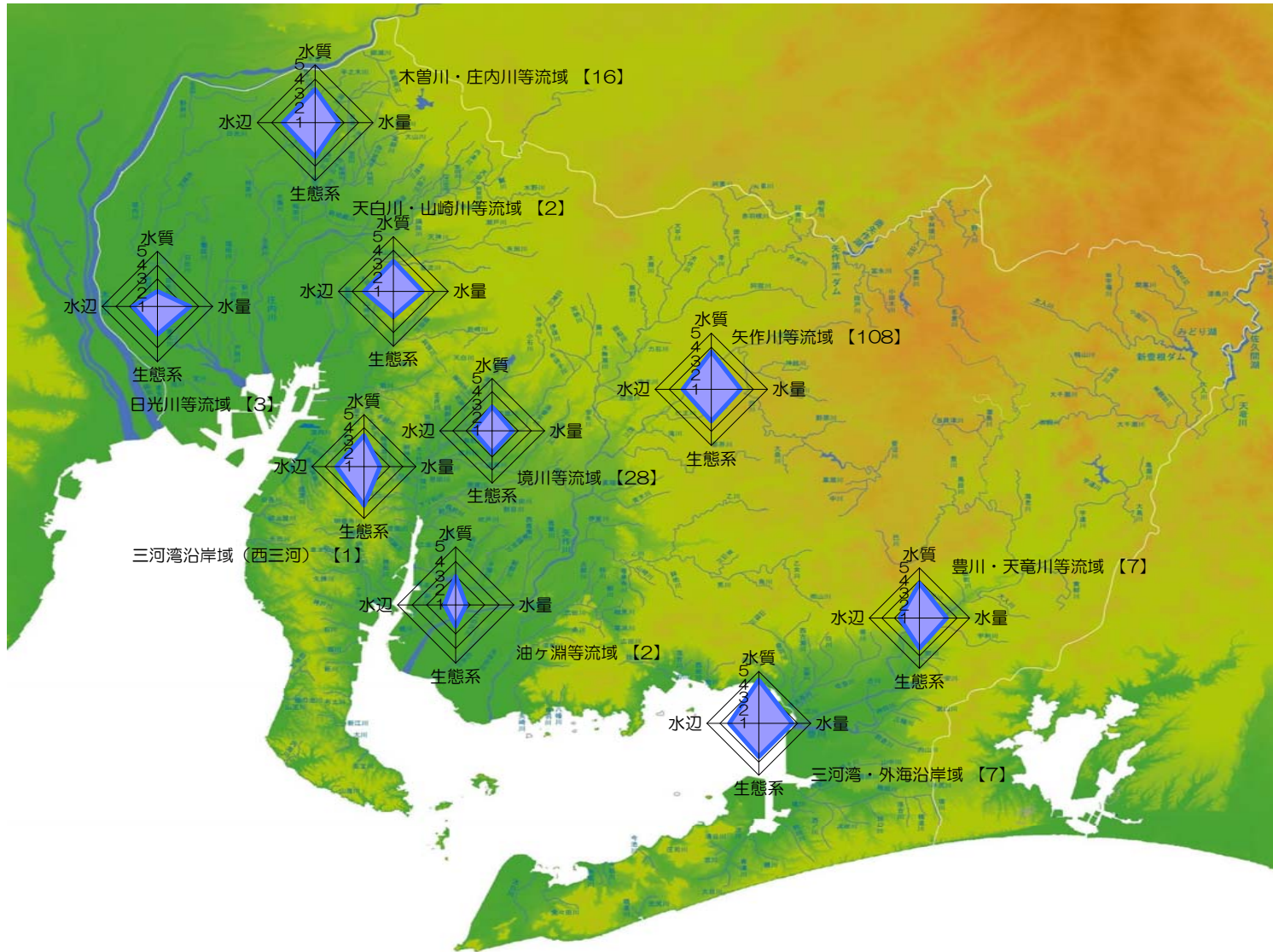
5 平成24年度の流域モニタリング一斉調査に向けて

- ・流域モニタリング一斉調査は来年度も引き続き実施します。
- ・事務局（県環境部水地盤環境課）で3月末に流域モニタリング一斉調査の参加者募集の記者発表を行いますので、市町村広報への掲載やちらしの配布をお願いします。
- ・平成24年度も5月下旬に自由参加での体験会を開催します。場所は今年度と同じ場所（各地域2地点）を予定しています。開催日時については、来年度に御連絡します。
- ・調査マニュアルである「水の調査の進め方」及び調査マニュアルを抜粋した「モニタリングハンドブック」や調査票については配布できますので、必要部数を御連絡ください。
- ・一昨年度配布した透視度計については、希望する参加者へ貸し出しをお願いします。

H24流域モニタリング一斉調査スケジュール（案）

	23年度			24年度						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地域協議会		○								
記者発表			○							
市町村広報等による公募				■■■■■■■■■■						
体験会					○					
保険の加入					○		○			
流域モニタリング一斉調査						■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	
調査結果とりまとめ								■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■

平成23年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



調査項目

- 水質 水の色、濁り、におい 等
- 水量 水深、流速 等
- 生態系 魚、周辺の植生 等
- 水辺 水辺への近づきやすさ、ごみ 等

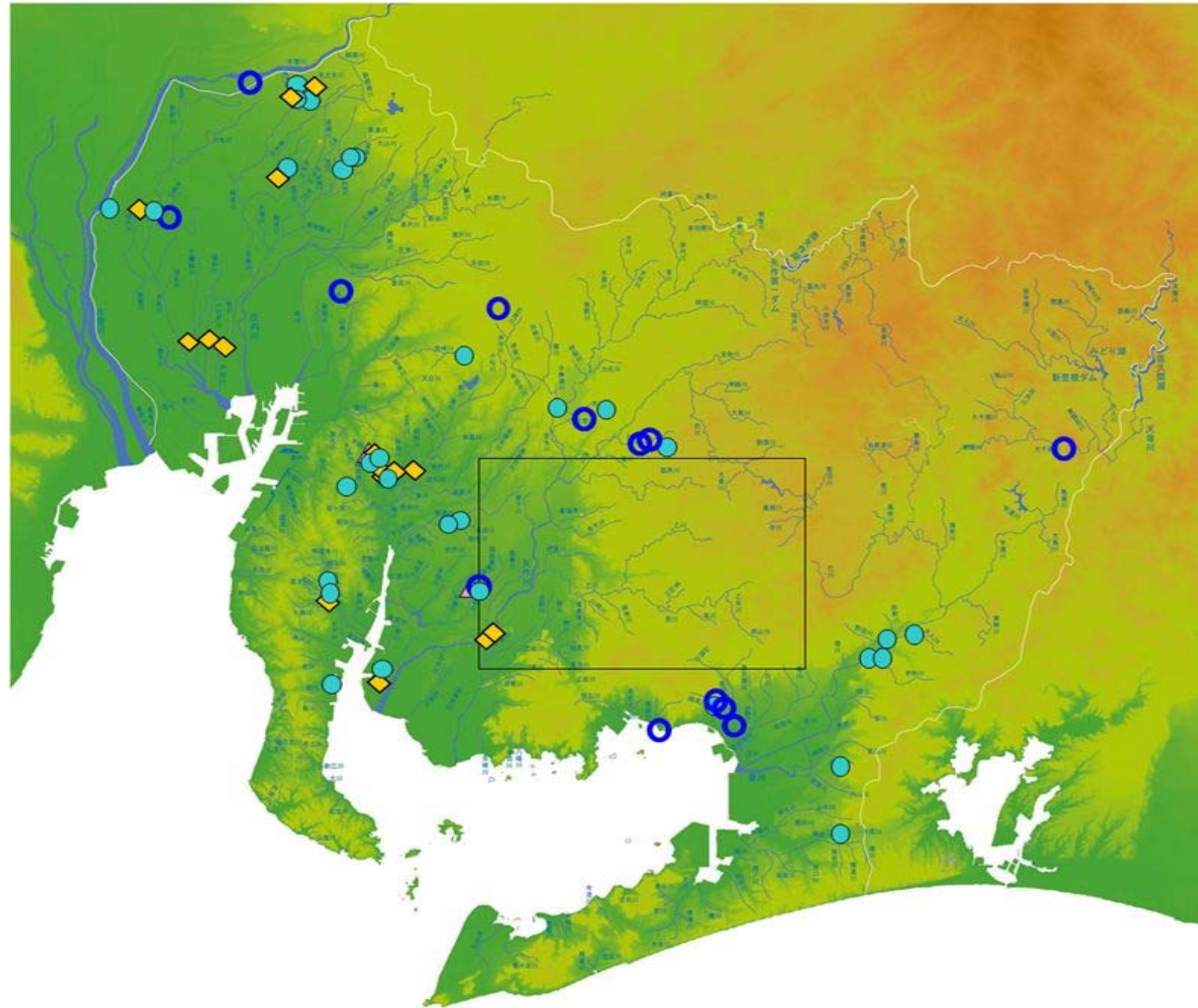
各項目を5段階評価しています

例) 水の濁り

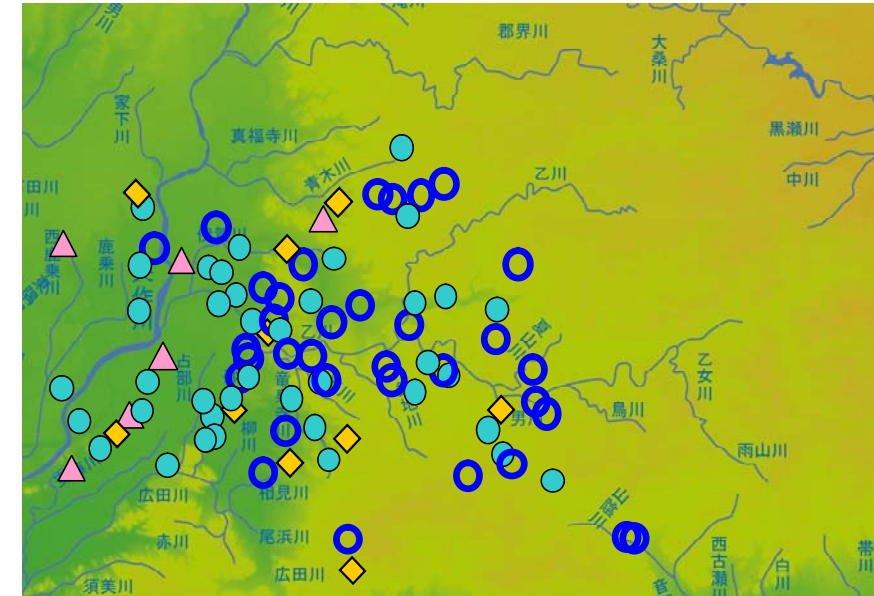
5	4	3	2	1
透明	(中間)	少し濁っている	(中間)	大変濁っている

※ 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。

平成23年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）

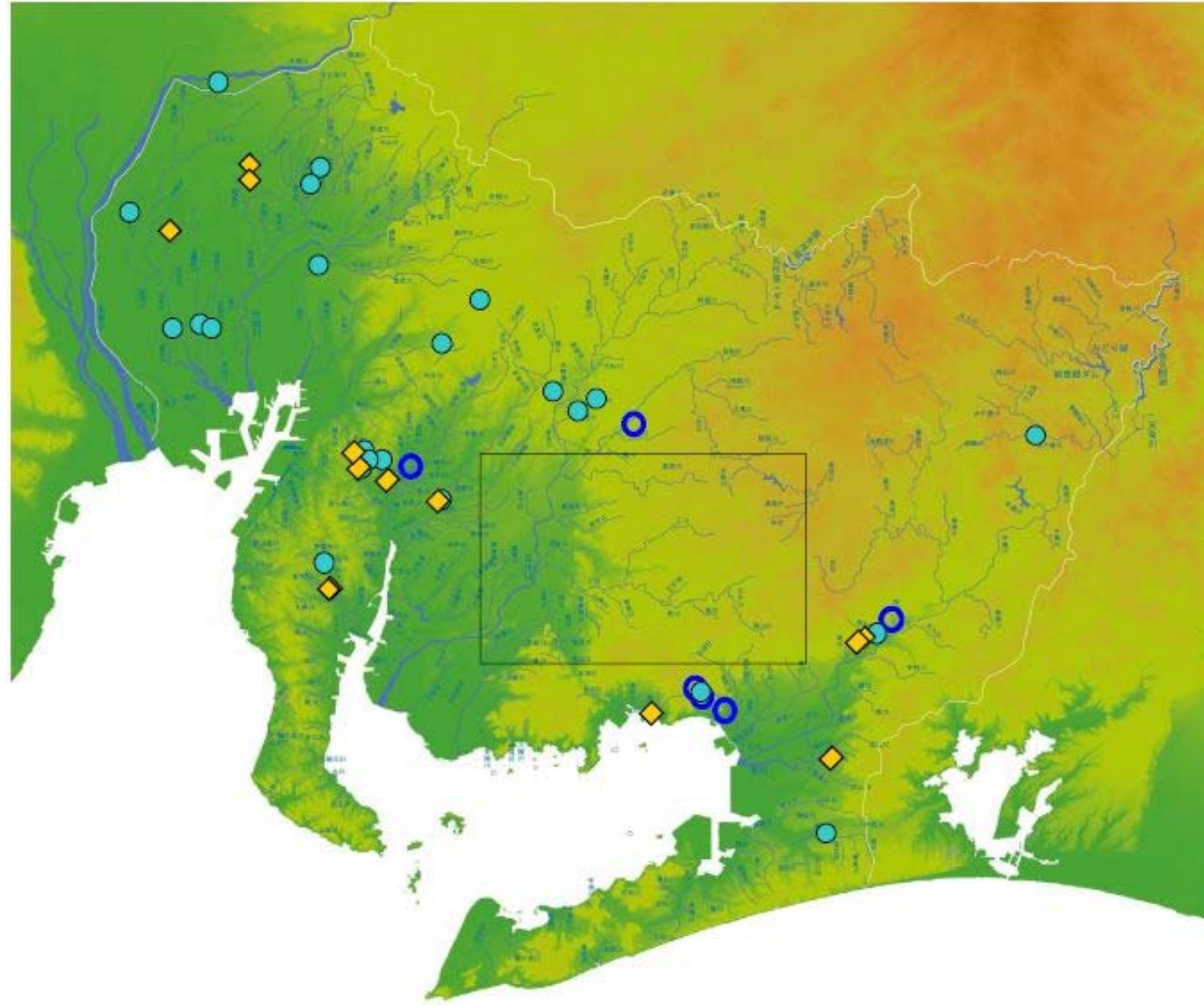


岡崎市周辺

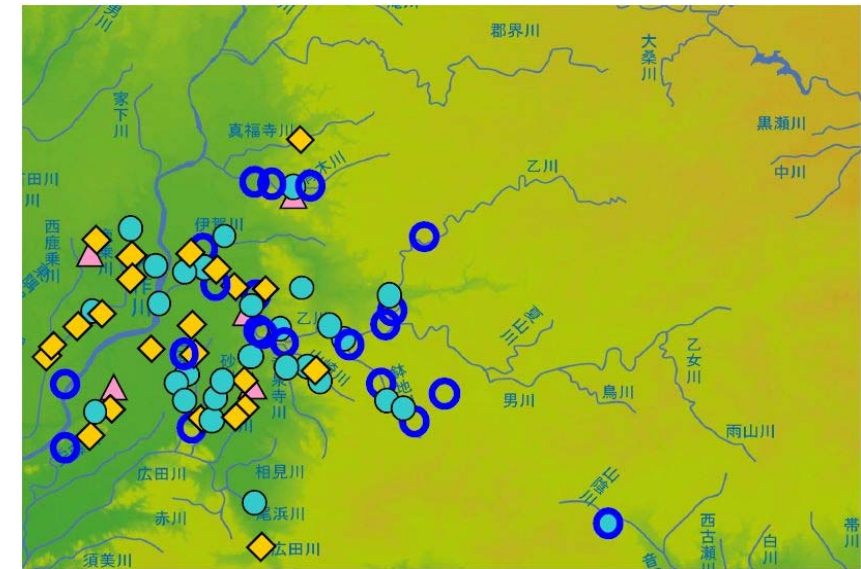


凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい ↑ ↓ 利用しにくい
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	

平成23年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）

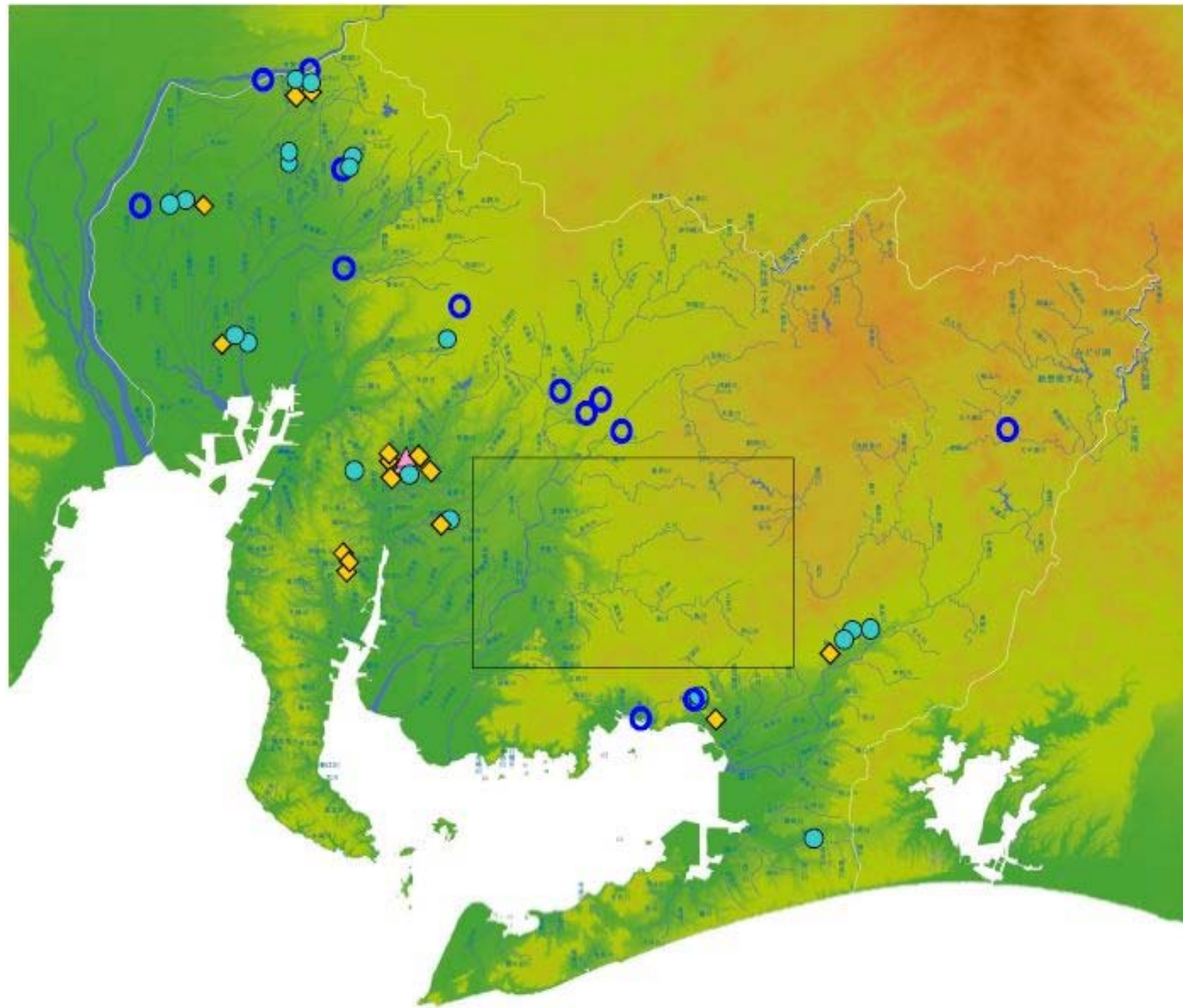


岡崎市周辺

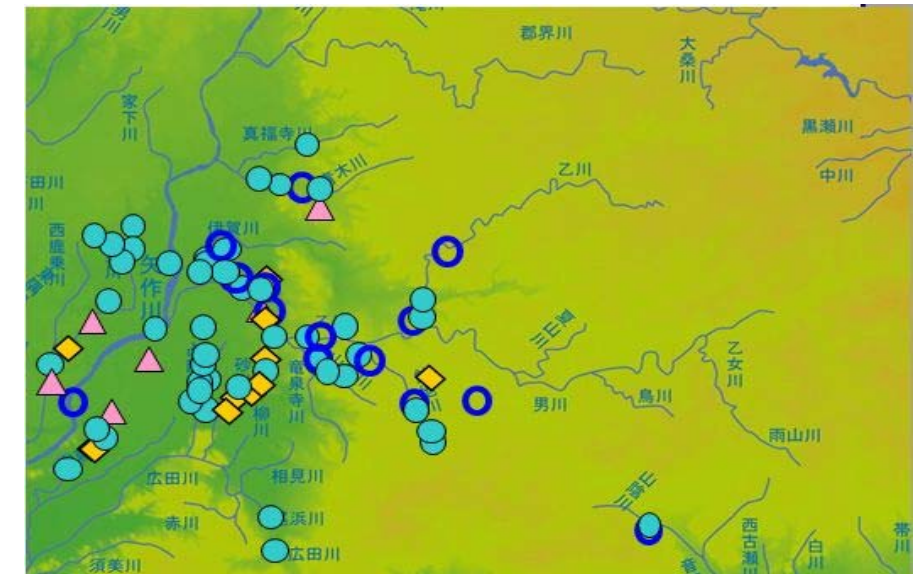


凡例	平均点	判定
○	4～5	十分な流れがある ↑ ↓ 流れがほとんどない
●	3～4	
◇	2～3	
△	1～2	

平成23年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）

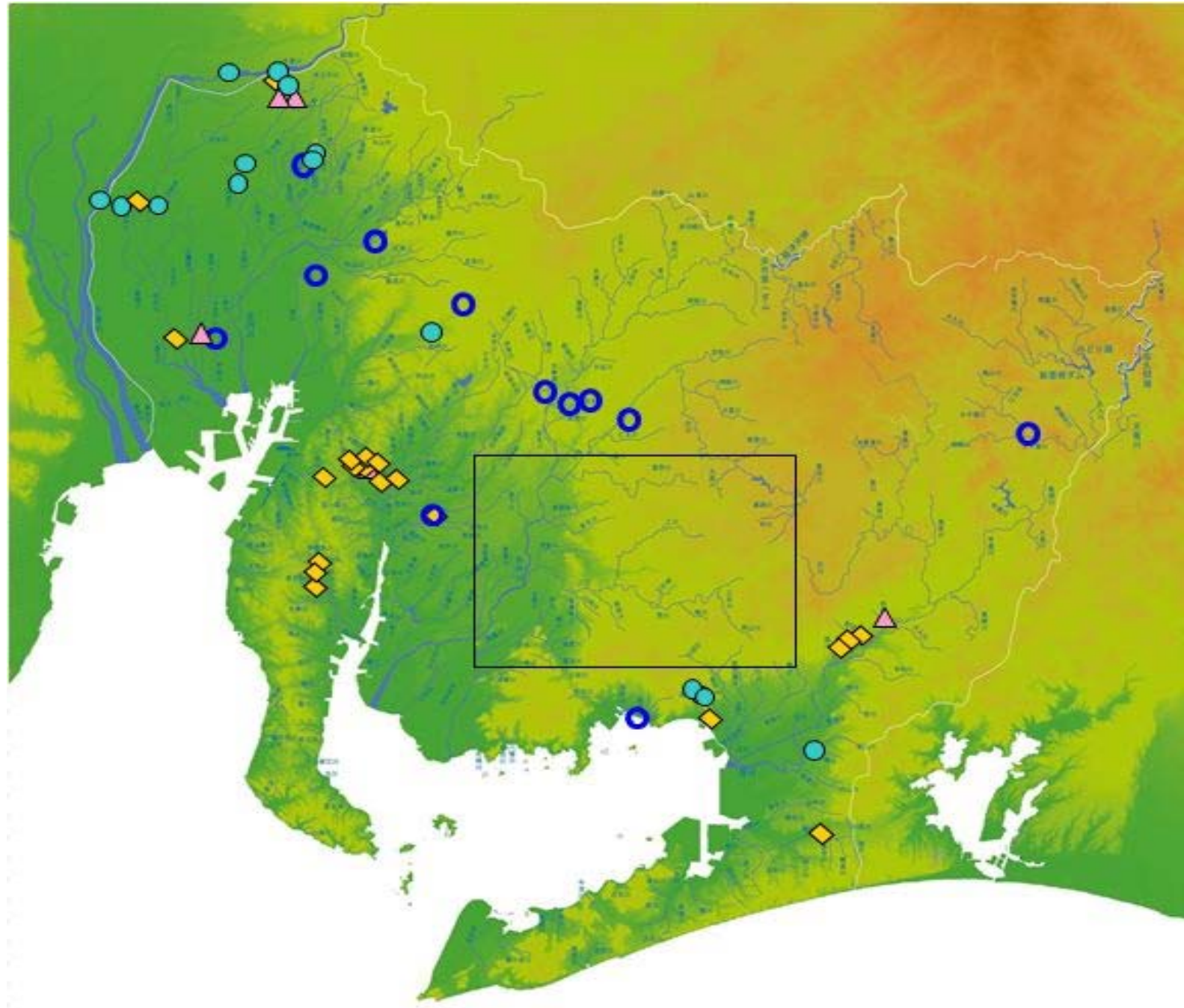


岡崎市周辺

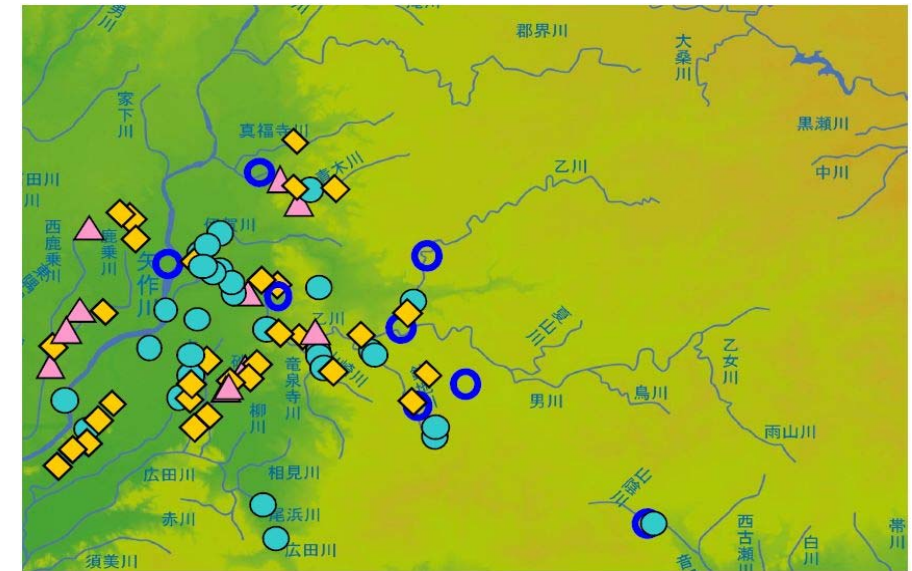


凡例	平均点	判定
○	4～5	生物が豊かな水環境 ↑ ↓ 生物がほとんどいない水環境
●	3～4	
◇	2～3	
△	1～2	

平成23年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



岡崎市周辺



凡例	平均点	判定
○	4~5	快適な水辺 ↑ ↓ 不快な水辺
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	

平成24年度 流域モニタリング一斉調査 参加者募集

流域モニタリング一斉調査とは、森から海までの流域全体を視野に入れ、水循環の現状とその変化を把握するため、県民・事業者・民間団体・行政が協力して、流域の水環境の状況を調査するものです。

みんなで身近な水辺（河川、湖沼、海、水路、ため池など）の水質や水量、生態系を調べてみましょう。

◇対象

2名以上のグループ
（子供は保護者と一緒に参加してください。）

◇調査時期

6月5日（環境の日）の前後一週間
（期間内に調査ができない場合は時期をずらして調査することもできます。）

◇調査内容

調査マニュアルを用いて、身近な水辺（河川、湖沼、水路、ため池など）の調査を行います。調査結果はお住まいの市役所又は町役場へ提出していただきます。

【調査項目】

- ① 水質：水の汚れ、水の色、濁り、におい など
- ② 水量：流速、水深 など
- ③ 生態系：水質階級（水生生物の調査）、魚の調査、植生調査 など
- ④ 水辺：透視度、ごみの状況、水辺景観 など

◇申込方法

参加申込書(裏面)に必要事項を記入し、お住まいの市役所または町役場へ提出してください。（ご希望の方には保険への加入を行います。）

◇問い合わせ先

△△市□□部環境課 電話 000-000-0000 FAX000-000-0000

平成 24 年度流域モニタリング一斉調査 参加申込書

グループ名					
調査予定日		平成	年	月	日
調査予定場所				調査予定 地点数	地点
代 表 者	氏 名				
	住 所				
	電話番号				
	性 別	男 ・ 女	年 齢		保険加入の 必要性の有無

<調査参加者>

	氏 名	性 別	年 齢	保険加入の 必要性の有無
1		男 ・ 女		
2		男 ・ 女		
3		男 ・ 女		
4		男 ・ 女		
5		男 ・ 女		

※ 保険に加入する必要の方は「保険加入の必要性の有無」の欄に「○」を記入してください。

